

1. 業務名

廃棄物処理処分由来プラスチック類の環境中挙動の評価に関する研究

2. 所属

(ユニット名) 資源循環領域

(室名) 廃棄物処理処分技術研究室

3. 募集人数

1名

4. 業務の内容

国立環境研究所の資源循環領域の基礎基盤的研究および物質フロー革新研究プログラム等において、日本および海外におけるプラスチック廃棄物の環境中動態の評価および実効的な対策に関する検討を行う。具体的には、所員らと連携し、以下の研究分野のうち、一つまたは複数の分野の研究に従事する（採用者の適性等を考慮して相談の上で決定する）。

- (1) バイオプラスチック類の環境中動態評価のための試験方法の開発および劣化挙動の実験的評価
- (2) 国内におけるプラスチック類の環境放出量算定のためのモデル開発およびプラスチック削減対策の実効性評価
- (3) 海外におけるプラスチック廃棄物の環境放出実態の評価と放出削減対策の検討

5. 必要とされる専門分野及び資格

以下のすべての要件を満たすこと。

- (1) 採用時に修士号または博士号を有すること。
- (2) 環境問題の解決を目指す総合的な研究分野（環境工学、都市工学、土木工学、社会基盤工学、リスク工学等）に関する専門知識、及び論文等の研究業績を有すること。

6. 選考方法

書類審査の後、面接を行い決定する。面接を行う者には別途連絡をする。

7. 提出書類

- (1) 履歴書（写真添付、[所定の様式](#)を使用） 1部
- (2) 研究業績リスト（査読論文、著書、総説・解説など） 1部
- (3) これまでの研究の概要（A4で1～2枚程度） 1部
- (4) 着任後の研究に対する抱負（A4で1～2枚程度） 1部
- (5) 主要研究論文の別刷りまたはコピー（3編以内）各1部
- (6) 所見を求めうる方2名の氏名および連絡先 1部
（応募書類の返却不可（選考後不採用となった場合は責任を持って処分します。））

なお、履歴書の職歴欄には、雇用先、雇用期間等を正確に記載してください。

また、国立環境研究所との間に雇用契約以外の契約・委嘱等の関係（共同研究、研究協力、労働者派遣、請負常駐等）がある場合は、その旨も記載してください。

8. 応募方法

郵送または電子送付による。

（郵送の場合は、封筒に朱書きで「廃棄物処理処分由来プラスチック類研究業務応募書類」と記載すること。電子送付の方法については、事前に下記 14. の担当者あてにメールで問い合わせをし、その際、メールの件名を「廃棄物処理処分由来プラスチック類研究業務応募」と記載すること。

9. 応募締切

随時受付。ただし適任者が見つかれば次第締め切ります。

10. 待遇等

（職種）特別研究員または准特別研究員

（雇用形態）フルタイム

（1日の勤務時間）特別研究員 裁量労働制
准特別研究員 7時間45分

（時間外及び休日勤務の有無）有

（給与）「国立研究開発法人国立環境研究所契約職員給与規程」に基づき決定し支給する。

基本給 特別研究員（年俸制※1/12を毎月支給）4,716,000円より

准特別研究員（日給制）13,280円より

（試用期間）6箇月

（その他就業関係）「国立研究開発法人国立環境研究所契約職員就業規則」及びその他関連規程によりご確認ください。

（参考）国立環境研究所基本規程 <http://www.nies.go.jp/kihon/kitei/index.html>

11. 採用予定時期

2022年9月1日以降のなるべく早い時期

12. 雇用期間

採用日より2023年3月31日まで。

なお、研究所の事業計画、勤務実績等の状況により2027年3月31日（最長更新限度）までの間に限り、年度単位での更新があり得ます。

13. その他

本公募は科学技術・イノベーション創出の活性化に関する法律第15条の2の対象業務に該当しません。

※科学技術・イノベーション創出の活性化に関する法律と労働契約法第18条の通算契約期間に関しては、以下を参照してください。

<https://www.mhlw.go.jp/content/11200000/000488206.pdf>

14. 問い合わせ及び書類提出先

国立研究開発法人国立環境研究所

（住所）〒305-8506 茨城県つくば市小野川16-2

（ユニット名）資源循環領域

（室名）廃棄物処理処分技術研究室

（氏名）山田正人

（TEL）029-850-2837

(E-mail) myamada (半角で@nies.go.jp をつけてください。)

15. 公募番号

R04-R-039